2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　エスケー化研株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4628　　ＵＲＬ　https://www.sk-kaken.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤井　実広
問合せ先責任者　（役職名）取締役経理部長　　（氏名）井内　孝　　ＴＥＬ　072-621-7720

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	60,736	14.7	8,518	47.8	9,158	32.4	6,324	19.1
2026年３月期中間期	52,963	1.6	5,764	△6.2	6,914	11.7	5,310	15.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　7,199百万円（90.3%）　2026年３月期中間期　3,782百万円（△42.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	468.84	－
2026年３月期中間期	393.67	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	211,899	178,855	84.4
2026年３月期	205,260	174,759	85.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　178,855百万円　2026年３月期　174,759百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	230.00	230.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	180.00	180.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2026年３月期期末配当金の内訳　普通配当　180円00銭　記念配当　50円00銭
2027年３月期（予想）期末配当金の内訳　普通配当　180円00銭

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	7.6	15,500	26.9	17,500	3.1	12,500	2.0	926.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2026年11月10日）公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　、除外　ー社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	15,673,885株	2026年３月期	15,673,885株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,183,885株	2026年３月期	2,183,779株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	13,490,075株	2026年３月期中間期	13,490,174株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、２ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化や中東地域における緊迫化等に伴う資源価格の上昇、中国経済の先行きなどが懸念材料として推移いたしました。国内経済におきましても、為替の円安傾向の継続に加え、原油およびナフサをはじめとする原材料価格やエネルギーコストの高騰が物価高を招くなど、先行き不透明な状況が続きました。

建築塗料業界におきましては、期初において中東情勢等の影響による建築資材の供給不安や価格高騰を懸念した駆け込み需要が発生したものの、その後は徐々にその反動による需要の減少が見え始めております。このような中、当社におきましてもコスト増加に対する販売価格への適切な転嫁とコスト削減に努めてまいりましたが、継続する物価高や国内政策金利の引き上げ等を背景に消費者の節約志向や住宅投資の手控え傾向が高まっており、先行きにつきましては依然として予断を許さない状況が続いております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループにおきましては、技術革新を強みとした高付加価値製品の拡販に引き続き注力してまいりました。具体的には、環境配慮型バイオマス塗料をはじめとする脱炭素社会の実現に貢献する製品や、地球温暖化に対応した「省エネ型遮熱塗料」、独自技術による「高意匠性塗材」、さらには「耐火被覆材・断熱材」などの販売強化を図り、既存取引先の深耕ならびに新規顧客の開拓を強力に推進いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は607億36百万円（前年同期比14.7％増）となりました。利益面におきましては、原材料価格の高騰に対し、販売価格への転嫁や経費削減、効率化を推進しました結果、営業利益は85億18百万円（同47.8％増）、経常利益は為替差損の発生などもありましたが91億58百万円（同32.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は63億24百万円（同19.1％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、駆け込み需要の反動減が生じる中、コスト削減と販売価格への適切な転嫁に努めた結果、売上高は535億85百万円（前年同期比15.6％増）となり、前年同期に比べて72億30百万円の増収となりました。セグメント利益は、87億１百万円（同40.1％増）と前年同期に比べて24億90百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の大規模再開発や物流施設、データセンターの需要は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は60億27百万円（同5.5％増）と前年同期に比べて３億14百万円の増収となりました。セグメント利益は、10億58百万円（同17.0％増）となり、前年同期に比べて１億53百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は11億23百万円（同25.5％増）と前年同期に比べて２億28百万円の増収となりました。セグメント利益は、２億75百万円（同149.3％増）と前年同期に比べて１億65百万円の増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて66億39百万円増加し、2,118億99百万円（前連結会計年度末比3.2％増）となりました。

増加した主なものは、長期預金50億円（同19.2％増）、電子記録債権19億45百万円（同45.8％増）、商品及び製品８億82百万円（同37.8％増）、土地７億40百万円（同6.6％増）、原材料及び貯蔵品６億95百万円（同13.8％増）、減少した主なものは、現金及び預金22億28百万円（同2.1％減）、受取手形及び売掛金10億79百万円（同6.2％減）であります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて25億43百万円増加し、330億44百万円（同8.3％増）となりました。

増加した主なものは、買掛金16億89百万円（同19.7％増）であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて40億95百万円増加し、1,788億55百万円（同2.3％増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する中間純利益を含む利益剰余金32億21百万円（同1.9％増）、為替換算調整勘定９億15百万円（同15.3％増）であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年５月13日に公表しました業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日（2026年11月10日）公表しました「2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,240	103,012
受取手形及び売掛金	17,502	16,423
電子記録債権	4,251	6,197
商品及び製品	2,336	3,219
仕掛品	1,426	1,623
未成工事支出金	297	476
原材料及び貯蔵品	5,034	5,729
その他	1,259	1,553
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	137,331	138,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,674	4,570
機械装置及び運搬具（純額）	292	262
土地	11,173	11,913
建設仮勘定	247	585
その他（純額）	1,003	933
有形固定資産合計	17,392	18,265
無形固定資産	806	815
投資その他の資産		
投資有価証券	18,956	18,838
繰延税金資産	60	147
長期預金	26,011	31,011
退職給付に係る資産	2,180	2,210
その他	2,521	2,394
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	49,729	54,602
固定資産合計	67,929	73,683
資産合計	205,260	211,899

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,568	10,258
短期借入金	3,000	3,000
未払金	6,889	6,935
未払法人税等	2,851	3,001
賞与引当金	1,959	2,257
役員賞与引当金	106	53
製品保証引当金	43	80
その他	2,406	2,791
流動負債合計	25,827	28,379
固定負債		
繰延税金負債	92	83
役員退職慰労引当金	1,334	1,348
退職給付に係る負債	139	140
その他	3,107	3,092
固定負債合計	4,673	4,664
負債合計	30,500	33,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,170	3,170
利益剰余金	171,987	175,209
自己株式	△9,481	△9,482
株主資本合計	168,338	171,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	33
為替換算調整勘定	5,995	6,911
退職給付に係る調整累計額	404	351
その他の包括利益累計額合計	6,421	7,296
純資産合計	174,759	178,855
負債純資産合計	205,260	211,899

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	52,963	60,736
売上原価	36,987	40,843
売上総利益	15,976	19,892
販売費及び一般管理費	10,212	11,374
営業利益	5,764	8,518
営業外収益		
受取利息	951	1,138
受取配当金	0	0
仕入割引	26	32
為替差益	99	－
為替換算調整勘定取崩益	35	－
雑収入	65	91
営業外収益合計	1,178	1,262
営業外費用		
支払利息	26	42
為替差損	－	580
雑損失	1	1
営業外費用合計	28	623
経常利益	6,914	9,158
税金等調整前中間純利益	6,914	9,158
法人税、住民税及び事業税	1,493	2,913
法人税等調整額	110	△80
法人税等合計	1,603	2,833
中間純利益	5,310	6,324
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	5,310	6,324

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	5,310	6,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	11
為替換算調整勘定	△1,501	915
退職給付に係る調整額	△30	△52
その他の包括利益合計	△1,528	874
中間包括利益	3,782	7,199
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,782	7,199
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,914	9,158
減価償却費	284	339
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△197	294
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△53	△53
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	0	0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2	13
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△4	36
受取利息及び受取配当金	△952	△1,139
支払利息	26	42
為替差損益（△は益）	△159	557
固定資産除売却損益（△は益）	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	△1,271	△756
棚卸資産の増減額（△は増加）	△218	△1,858
仕入債務の増減額（△は減少）	721	1,646
その他	21	94
小計	5,116	8,376
利息及び配当金の受取額	842	1,053
利息の支払額	△26	△41
法人税等の支払額	△1,163	△2,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,768	6,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21,655	△29,609
定期預金の払戻による収入	22,053	26,065
固定資産の取得による支出	△2,901	△1,173
固定資産の売却による収入	1	－
有価証券の取得による支出	△6,216	－
有価証券の償還による収入	4,600	－
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△25	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,143	△4,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000	1,000
短期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,617	△3,100
その他の支出	△80	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	△3,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	△649	151
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,723	△1,012
現金及び現金同等物の期首残高	52,953	45,748
現金及び現金同等物の中間期末残高	51,230	44,735

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	建築仕上塗材	耐火断熱材	計				
売上高							
日本	38,739	5,692	44,431	895	45,327	－	45,327
アジア	7,615	21	7,636	0	7,636	－	7,636
顧客との契約から生じる収益	46,355	5,713	52,068	895	52,963	－	52,963
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	46,355	5,713	52,068	895	52,963	－	52,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	1	3	△3	－
計	46,356	5,713	52,069	897	52,967	△3	52,963
セグメント利益	6,211	904	7,115	110	7,226	△1,462	5,764

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,463百万円、セグメント間取引消去１百万円であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	建築仕上塗材	耐火断熱材	計				
売上高							
日本	45,700	5,927	51,628	1,123	52,751	－	52,751
アジア	7,884	99	7,984	0	7,984	－	7,984
顧客との契約から生じる収益	53,585	6,027	59,612	1,123	60,736	－	60,736
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	53,585	6,027	59,612	1,123	60,736	－	60,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	0	1	△1	－
計	53,585	6,027	59,613	1,124	60,737	△1	60,736
セグメント利益	8,701	1,058	9,760	275	10,035	△1,517	8,518

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,518百万円、セグメント間取引消去１百万円であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	109,913百万円	103,012百万円
預入期間が３か月を超える定期預金	△58,682	△58,277
現金及び現金同等物	51,230	44,735